

議会報告・市民との意見交換会

加西市議会では、年2回「市民との意見交換会」を実施しています。平成28年度は4団体を対象に開催し、次のような意見が述べられました。

7/26

加西商工会議所青年部



- 加西市歩くまちづくり条例を制定しているが、今後、歩きやすい歩道や自転車道の整備計画はあるのか。
→歩道設置は要望が多く、議会からも行政側に訴えています。自転車道の整備は難しいと考えます。
- なかなか人口減少を食い止めてもらえていないが、市の考え方について。
→財政的な課題もあり大きな支援はできないが、出会いの場の創出、規制緩和による住宅建設、保育

料無料化、中学校給食の完全実施、産業団地の整備等の施策を実施しており、若い世代の流出防止に努めたいと考えています。



- ふるさと納税は返礼品の充実によって大幅に増加したが、高額な返礼品については見直されると聞く。今後の対応について。
→平成27年度は約2億円のふるさと納税がありました。総務省の通知を受けて高額返礼品を見直し、上限を100万円から30万円としています。今後も返礼品の充実に向けて協力していただきたい。
- 望む場所に家を建てられないことや水道代を理由に、結婚しても市内に住まない。また、加西市は車がないと生活できないうえに、若い世代が遊ぶ場所もなく住みたくないと思われる。人口流出を防いでほしい。
- 「加西市は道が汚い」と市外からの声を聞く。きちんと整備してほしい。
- 近隣で実施している小中一貫教育も検討してはどうか。
- 加西病院の小児科がなくならないようにしてほしい。

7/27

加西市女性団体連絡会

- 妊産婦への継続した子育て支援が大切であるとともに、男性の育児休暇活用など父親の子育て参加は欠かせない。悩みを抱える妊産婦を孤立させない地域全体での取り組みやシステムを作ることが重要である。
→出産から子育ての継続した支援は行政の重要な役割です。少子化と労働力不足の課題も行政や企業の育児支援による女性の働きやすい社会をつくることが大切と考えています。
- 世界的にも日本男性は家事参加が少なく、女性の負担軽減についてみんなで考える必要がある。また、老後の介護について、8割の男性は妻や家族が見てくれると考えているそうだが、それは幻想である。男性の独居、介護、認知症は重大な問題であり、生きる術としても男性の家事参加は課題である。
- 人口増は困難な課題だが、高齢者や女性のパワーを活用することが重要だ。健康寿命を保っている地域や、女性が活躍している先進地事例を視察し加西市に反映してほしい。

→地域を担ってきた経験や知恵を次世代に引き継いでいくことが大切と考えています。



- 4、5歳児の保育料が無料になったが、就業の証明等が必要で、下に子どもがある場合に利用しにくい。少子化で園児も減るなか改善できないのか。また、高校の広域化が進められているが、交通の便が悪いことが通学の障害になっているのではないか。
- 入園手続きの簡素化は、必要性を確認した上で、改善の提案ができるか検討したいと思います。交通については、北条駅～高校間や西脇からのバス運行など改善されつつあります。

